

プログラム

10:00～10:05 開会の辞	学術集会実行委員長 村田 透
10:05～11:00 基調パネルディスカッション 「内外合一による新しい医療を実践する——ビッグクロスの時代の医療をめざして」	くまがい眼科 熊谷和久 重症心身障害児施設 中川の郷 許斐博史 名古屋掖済会病院 産婦人科 梅崎文子 あおぞら診療所 前田浩利
11:00～11:45 セッションⅠ〈内外合一の医療を実践する〉	座長 梅の辻クリニック 山田洋司
① TL 医療に基づく医療者の意識の転換に伴い改善した過食症の 1 例	藤枝市立総合病院 心療内科 福島一成
② 治療者の「因」の変革による精神科医療の可能性について ——ある人格障害症例との精神療法過程の行き詰まりを光転した経験から	西岡病院 精神科 東中園 聡
③ TL 医療の実践により著明に改善したと思われる、過換気症候群・NUD(非潰瘍性消化器症状)を伴った境界性人格障害の 1 症例	うめした内科 梅下滋人
11:45～12:30 セッションⅡ〈トータルライフ看護を実践する〉	座長 トータルライフクリニック本郷内科 岡 登美子
① TL 人間学に基づいた「因」の転換が新人指導に効を奏した体験をして	東京医科歯科大学付属病院 血液内科 武 未希子
② TL 人間学に基づいた医療者の「因」の変革によってターミナル患者の癒しに貢献できた 1 例	東北労災病院 内科 吉田久美子
③ “因縁果報ウイズダム基本篇”に取り組むことによって家族関係が改善し、全身状態の改善と安定した在宅介護が可能となった痴呆性老人の 1 症例	うめした内科 花田美那子
12:30～14:00 昼 食	
14:00～15:20 特別講演「いのちをみつめ、支えること——私の歩んできた道とバイオエシックス(生命倫理)」	座長 トータルライフクリニック本郷内科 馬淵茂樹 早稲田大学人間科学部 人間健康科学科教授 木村利人
15:20～16:10 セッションⅢ〈対話の医療を実践する〉	座長 重症心身障害児施設 中川の郷 許斐博史
① 対話診療により四肢の痺れと疼痛が軽快した 1 症例	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 心療・緩和医療学分野(心身医療科) 麻生佳津子
② 対話診療によって「病は呼びかけ」の受容を契機として、短期間で著明に肝機能が改善した薬剤性肝障害の 1 症例	今給黎総合病院 消化器内科 古賀哲也
③ 家族への対話によって改善をみたアルツハイマー型痴呆症の 2 例	トータルライフクリニック本郷内科 穴水聡一郎
④ 新しい病気観に拠る小児科診療の試み—第 2 報—	あおぞら診療所 前田浩利
16:10～16:55 セッションⅣ〈トータルライフ医療を実践して〉	座長 国保黒石病院 産婦人科 小松田紘安
① 患者さんの内なる力を信じ、対話診療に赴いて	豊見城中央病院 呼吸器内科 砂川正木
② 片麻痺患者さんの出会いから呼びかけられたこと	リハビリテーション天草病院 リハビリテーション部 済川裕右
③ 医師である前に、一人の人間として	金沢大学付属病院 内科 紺井一郎
16:55～17:00 閉会の辞	学術集会実行委員長 村田 透